

事業所名	ふわり滑石	支援プログラム（参考様式）	作成日	令和7年 2月 1日
法人（事業所）理念	「豊かな環境でのびのびと」を基本とし、世界保健機関（WHO）の新しい国際生活機能分類（ICF）および社会福祉法・知的障害者福祉法・障害者総合支援法の理念である利用者本位を使命として、利用者の「自立と生活の質の向上」を目指します。これらの経営理念を分かり易く皆様に伝えるため「こころイキイキ」とテーマに掲げると共に、このテーマをイメージしたシンボルマークで多くの方々に訴求します。			
支援方針	2歳から18歳までを支援する児童発達支援課では「いつも笑顔があふれている子へ」を基本として、「毎日の花まる」「できた」など数多くの成功体験を通じて自分を認め、自信をもつて毎日をイキイキと生きる。そんな子どもたちの未来を創る。①自分を大切にできる。②幸せを感じる。③新しいことに挑戦できる。④自分の意思で決める。			
営業時間	平日（13時～17時30分）・学校休業日（9時30分～14時30分）	送迎実施の有無	平日帰り（自宅まで）あり	学校休業日（自宅まで）あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得できるよう支援します。 ・生活リズムを身に着ける（スケジュール提示）ことができるよう支援します。		
	運動・感覚	・感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入）を行います。 ・教材、季節の制作、いろんな道具の使い方などの活動を提供します。		
	認知・行動	・小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得できるよう支援します。 ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化）を行います。		
	言語 コミュニケーション	・場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得ができるよう支援します。 ・コミュニケーション手段の活用（SST・発表する機会の提供・ロールプレイ 意見の交換）を行います。		
	人間関係 社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人の関わり方や接し方を学ぶことができるよう支援します。 ・社会体験の場を設ける。 ・自己理解、他者理解への支援を行います。		
家族支援	保護者茶話会の開催をし、ご家族の悩みに寄り添っていくとともに保護者同士の繋がりを促していくていきます。	移行支援	就労体験や販売体験を行い、卒業後のサポートを行います。	
地域支援・地域連携	教育、医療など関係機関と連携し情報交換や支援会議を通して幼児、児童の将来を見据え、一貫した支援ができるよう支援します。	職員の質の向上	施設内研修 (発達支援の理解、構造化を用いた支援、PECS, SST, 応用行動分析)	
主な行事等	季節の行事、外出支援、買物支援、グループ活動（クッキングなど）、販売体験			